

# 高野町の目指す小中一貫教育

高野町立高野山小学校・中学校一貫教育推進委員会

## 一人ひとりが大切にされる教育を推進し、生きる力の育成を図ります

学校では、社会の急速な変化や子どもたちの心身の発達状況の変化に教育内容や方法を的確に対応させながら教育活動を進めていくことが求められています。こうした観点から、高野町では、小学校と中学校での学び・育ちを連続性のある義務教育9年間で捉え直し、子どもたち一人ひとりを大切にしながら特色ある教育活動を進めていくため、小中一貫教育を推進します。そして、1200年の歴史あるふるさと高野町に生まれ育ったことを誇りに思い、自分を大切に、多くの人に感謝する心をもつ子どもたちを育てます。

- ① 自ら学ぶ意欲と、自ら考える力を育成します。
- ② 宗教都市として培ってきた歴史と伝統・文化を尊重し、それらを育んできた郷土を愛する心を育てます。
- ③ 豊かな心と社会性を育てます。
- ④ 社会の変化を把握し、新しい課題にも向き合うたくましい力を鍛えます。

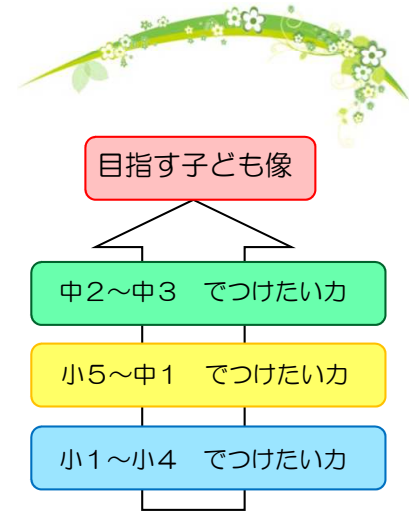
### 【高野町】小中一貫教育の4つの視点

#### 視点

#### 1

#### 施設一体型の小中一貫教育

- 小中学校の校舎を同一の敷地内に施設一体型とし、小中学校で『目指す子ども像』を共有して教育活動に取り組みます。
- 子どもたちの発達段階を考慮し、4・3・2制の区分（一例）による教育活動を実践します。
- 発達段階に応じて、3つの教育区分で「つきたい力」を明確にし、小中の9年間を通して『生きる力』を育成します。



教育区分	基礎定着期【4年】				連携活用期【3年】		充実発展期【2年】		
学校区分	小学校						中学校		
学年区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中1年	中2年	中3年
学習指導	学級担任制						教科担任制		
学習指導の目標	学習習慣（学び方の習得）を定着させるとともに、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図る。				小中学校教職員の密接な連携により、基礎的・基本的な知識・技能を活用し、自ら考え判断し、表現する力等を養う。		これまで学んだ学習内容や学習方法を充実・発展させ、希望する進路実現のため、自ら学ぶ力を身につける。		

生きる力：知（確かな学力）・徳（豊かな心）・体（健康、体力）のバランスのとれた力

## 視点 2

### 教育課程・指導形態の工夫・改善

- 小学校⇒中学校の指導内容の連続性を意識したカリキュラムの編成や指導方法を統一します。
- 9年間を見通した「道徳指導計画」を作成し、系統的・発展的な指導をおこなうとともに体験活動を充実し、豊かな心と社会性を育てます。
- 小学1年生から英語に親しむ機会を確保し、小中学校9年間で英語によるコミュニケーション能力を高めます。(例) 英語による観光案内等
- 中学校教員による小学校での授業の実施や小中合同による授業研究等により、9年間を見通した学習指導を充実します。
- 学習に向かう姿勢・態度や学び方など、高野山小中学校スタンダードを1年生から9年間積み重ねることで、『主体的に学ぶ力』を育てます。
- 授業改善・少人数指導及び補充学習の時間の確保により、子どもたちに「わかる」実感をもたせま

#### 聞き方

- 背すじをのばして聞こう。
- 話す人の顔を見て聞こう。
- だまって終わりまで聞こう。
- もっと詳しく知りたいことはないか考えながら聞こう。

聞き方スタンダード(一例)

## 視点 3

### 教育活動の連続性と小中教職員の連携・協働

- 校長のリーダーシップのもと、小中学校合同の連携部会(仮称)を設置し、小中一貫した指導方法や行事等の企画・立案及びその実現に向けた具体的な取組を行うとともにPDCAサイクルにより不断の見直しを行います。

PDCA: Plan(目標設定)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)

【一例】小中合同体育祭・小中合同文化祭・小中合同学習発表会・小中合同一汗運動  
小中合同防災訓練(引き渡し演習)・小中合同挨拶運動 等

- 研究授業や公開授業をとおして、小中の教員が互いの授業を参観し、授業力を高め合います。
- 生活指導の情報などを小中教職員で共有し、子どもたちに寄り添い、一人ひとりを大切に励ましや適切な指導を行います。

## 視点 4

### 地域とともにある学校(家庭・地域との連携・協力)

- 家庭・地域に向けて、学校の教育方針・内容を発信
- 学校施設を地域に積極的に開放
- 家庭・地域を巻き込んだ学習活動の展開
- 学校応援団として児童生徒の学習活動・体験活動等を支援
- 登下校時等の児童生徒の見守り・活動支援
- 早寝・早起き・朝ごはん等基本的な生活習慣の定着
- 児童生徒の活動・PTA活動への積極的な参加
- 地域での活動に親子で積極的に参加 等

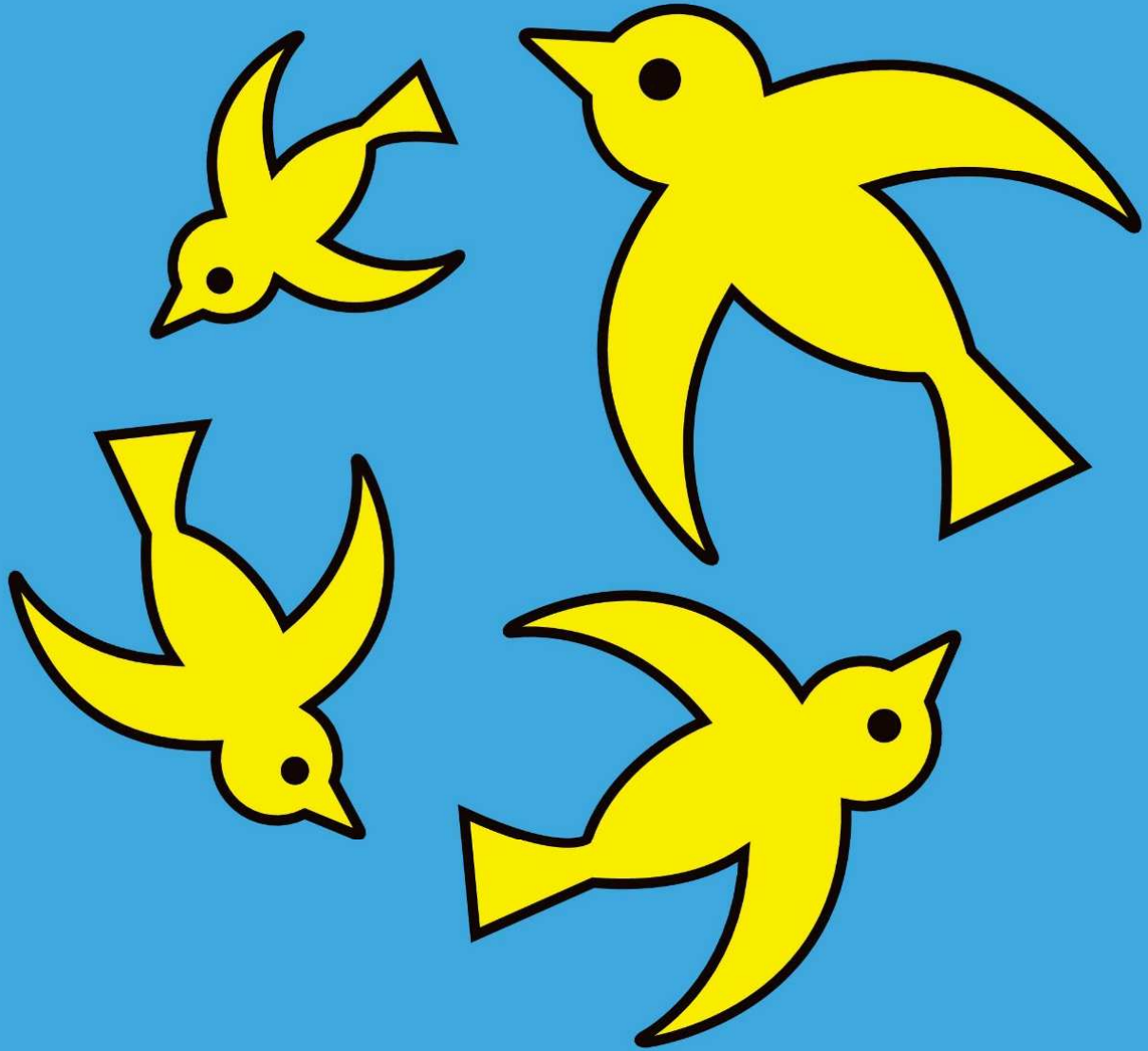
- 小中一貫の取組について、児童生徒や保護者・地域に学校評価アンケートを実施し、常に点検・改善を推進します。
- 家庭との連携を密にし、家庭学習や家読を推進します。
- 地域の行事に積極的に参加し、地域に貢献するとともに、地域の人人との交流を深めます。

家読: 家庭における読書運動

子供の未来を支える皆さまと共有したい  
新しい学習指導要領

# 生きる力

学びの、その先へ



学校で学んだことが、明日、そして将来につながるように、  
子供の学びが進化します。新しい学習指導要領、スタート。  
小学校：2020年度～ 中学校：2021年度～ 高等学校：2022年度～

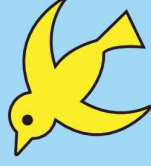
幼稚園は、2018年度に新しい幼稚園教育要領がスタート。特別支援学校は、小・中・高等学校学習指導要領に合わせて実施。

学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。

これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。

そして、明るい未来を、共に創っていきたい。

2020年度から始まる新しい「がくしゅうしどようりょう学習指導要領」には、そうした願いが込められています。



「学習指導要領」とは、全国どここの学校でも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準です。およそ10年に一度、改訂しています。子供たちの教科書や時間割は、これを基に作られています。

これまで大切にされてきた、子供たちに「生きる力」を育む、という目標は、これからも変わることはありません。

一方で、社会の変化を見据え、新たな学びへと進化を目指します。

## 生きる力 学びの、その先へ

新しい「学習指導要領」の内容を、多くの方々々と共有しながら、子供たちの学びを社会全体で応援していきたいと考えています。

## 目指すのは「社会に開かれた教育課程」の実現

保護者の皆さまや地域の皆さまのお力添えをいただきながら、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を達成していきます。

### 保護者の皆さまへ

子供たちの「生きる力」を育むには、学校での学びを日常生活で活用したり、ご家庭での経験を学校生活に生かしたりすることが、とても大切です。

おさんが学校で学んだことについて、ご家庭で、ぜひ話してみてください。

保護者の皆さまの働きかけが、

子供たちの「生きる力」を育む大きな原動力になります。



保護者の働きかけがある子供の学力は高いという傾向があります。例えば……

- 学校や友達のこと、地域や社会の出来事など家庭での会話が深い。
- テレビ・ビデオ・DVDを見る時間などのルールを決めている。
- テレビゲーム（携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム等を含む）をする時間を限定している。
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている。
- 子供に最後までやり抜くことの大切さを伝えている。
- 自分の考えをしっかり伝えられるようになることを重視している。
- 地域や社会に貢献するなど人の役に立つ人間になることを重視している。

（平成29年度全国学力・学習状況調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究）

## DATA



「生きる力」を育むために

# 子供たちの学びはどう進化するの？

## 主体的・対話的で深い学び (アクティブ・ラーニング)



一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」と思える授業に  
見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業に



周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業に

自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業に

学んだことを人生や社会に生かそうとする

## 学びに向かう力、人間性など



実際の社会や生活で生きて働く

未知の状況にも対応できる

## 知識及び技能 思考力、判断力、表現力など

学校教育の効果を常に検証して改善する



教師が連携し、複数の教科等の連携を図りながら授業をつくる



地域と連携し、よりよい学校教育を目指す

## カリキュラム・マネジメントを確立して教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図ります。

社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、**三つの力をバランスよく育みます。**

## 新たに取り組むこと、これからも重視することは？

下記のほかに、「体験活動」「キャリア教育」「起業に関する教育」「金融教育」「防災・安全教育」「国土に関する教育」「国防に関する教育」なども充実します。

### プログラミング教育

コンピュータがプログラムによって動き、社会で活用されていることを体験し、学習します。

### 外国語教育

「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の力を総合的に育みます。

### 道徳教育

自分ごととして「考え、議論する」授業などを通じて道徳性を育みます。

### 言語能力の育成

国語を要として全ての教科等で子供たちの言葉の力を育みます。

### 理数教育

観察、実験などによる科学的に探究する学習活動や、データを分析し、課題を解決するための統計教育を充実します。

### 伝統や文化に関する教育

我が国や郷土が育んできた日本の伝統や文化を学びます。

### 主権者教育

社会の中で自立し、他者と連携・協働して社会に参画する力を育みます。

### 消費者教育

自立した消費者を育むため、契約の重要性や消費者の権利と責任などについて学習します。

## 子供たちが学ぶ教科等とは？

遊びや生活の中で生きる力の基礎を培います。



### 幼児期の教育

- ・国語
- ・社会(3~6年)
- ・算数
- ・理科(3~6年)
- ・生活(1,2年)
- ・英語
- ・図画工作
- ・家庭(5,6年)
- ・体育
- ・外国語(5,6年)

### 小学校

- ・特別の教科 道徳
- ・外国語活動(3,4年)
- ・総合的な学習の時間(3~6年)
- ・特別活動



### 中学校

- ・国語
- ・社会
- ・理科
- ・音楽
- ・美術
- ・保健体育
- ・技術・家庭
- ・外国語
- ・特別の教科 道徳
- ・総合的な学習の時間
- ・特別活動



### 高等学校

- 各学科に共通する各教科等
  - ・国語
  - ・地理歴史
  - ・公民
  - ・数学
  - ・理科
  - ・保健体育
- ・総合的な探求の時間
- ・特別活動
- ・家庭
- ・情報
- ・理数

主として専門学科において開設される各教科

- ・農業
- ・工業
- ・商業
- ・水産
- ・家庭
- ・音楽
- ・美術
- ・英語
- ・福祉
- ・理数
- ・体育

明確にして、授業を改善します。

特別支援学校 小学校

特別支援学校 小学校

特別支援学校 小学校

特別支援学校 小学校

特別支援学校 中学校

特別支援学校 中学校

特別支援学校 高等学校

特別支援学校 高等学校

特別支援教育 幼児期から高等学校段階まで、全ての学校で障害に応じた指導を行い、一人一人の能力や可能性を最大限に伸ばします。



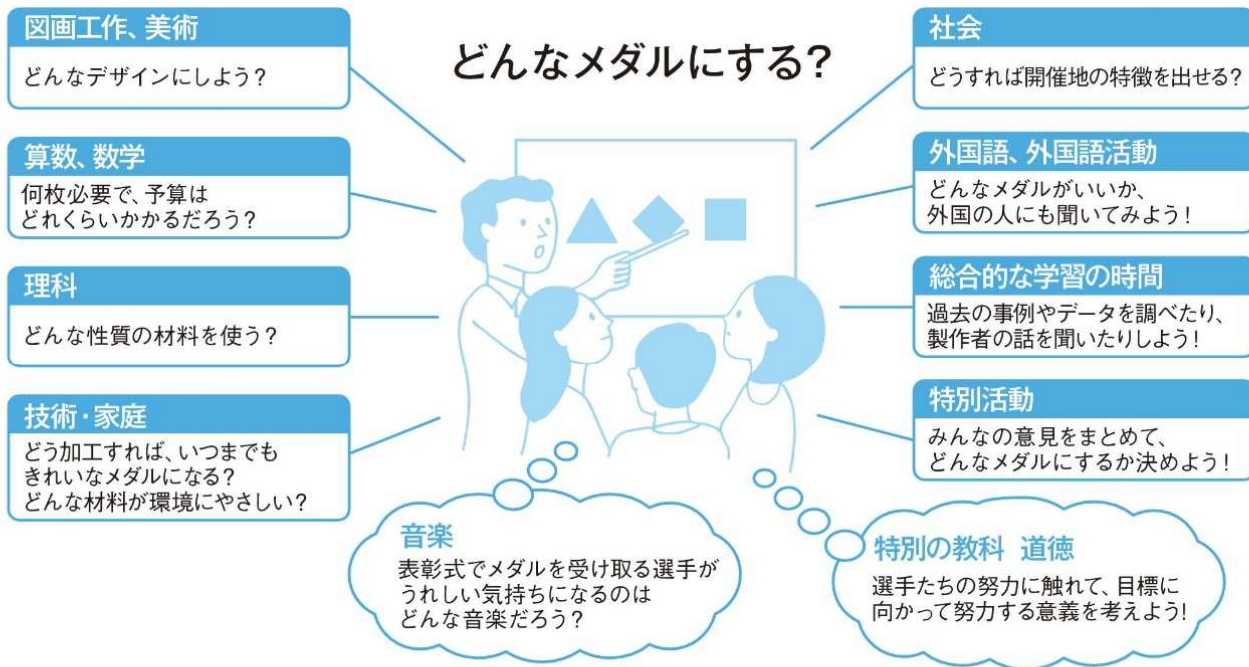
新しい学習指導要領で目指す学びを体感!

# オリンピック・パラリンピックのメダルをつくるなら

新しい学習指導要領では、社会に出てからも学んだことを生かせるような学校教育を目指します。

各教科等を通じて得た力は、将来どのように生かされるのでしょうか？

「オリンピック・パラリンピックのメダルづくり」というテーマで例を示してみました。



**国語** このような話合いや説明資料の作成にも、国語を要とする全ての教科等の学び（言語活動）が生かされています。

実際のオリンピック・パラリンピックのメダルにも、各教科等を通じて得た力が生かされています。



くわしくは文部科学省「学習指導要領ウェブサイト」へ  
各界で活躍中の著名人へのインタビューも！

URL [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/index.htm?mdia=pamp01](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/index.htm?mdia=pamp01)



初等中等教育局教育課程課

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2 03-5253-4111 (代表)